

令和4年11月発行

# 廃棄物減量等推進員研修会

開催

廃棄物減量等推進員活動を推進していただくため、第10期東住吉区廃棄物減量等推進員のみなさんにお集まりいただき、研修会を開催しました。



11月11日(金)14時から東住吉区民ホールに87名の参加をいただき、堀川中部環境事業センター所長よりあいさつをいただき、東住吉区廃棄物減量等推進員上田区代表メッセージの紹介の後、中部環境事業センター及び環境局事業部家庭ごみ減量課より講演が行われました。

東住吉区の全廃棄物減量等推進員を対象とした研修会の開催は3年ぶりとなり、堀川所長より「コロナ禍にあつて廃棄物減量等推進員活動が難しい状況でありましたが、状況を注視しながら活動を推進し、みなさんと『持続可能な循環型社会』の形成をめざしてまいります。2025年大阪・関西万博の開催地として、市民・事業者のみなさまと連携してプラスチックごみ削減の取組を進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。」とのあいさつあり、また、上田区代表からは「地域でも新型コロナで活動が制限されるなどご苦労されていることと思いますが、地域からごみの減量やリサイクルを進め、少しでも環境問題の解決に取組み、子どもたちに明るい未来を引き継いでいこうという思いで、推進員活動にご協力をいただきたいと思います。今日の研修で得たことや感じたことを、地域での活動



に役立てていただきますようお願いいたします。」とのメッセージをいただきました。

講演は、中部環境事業センターより廃棄物減量等推進員活動の推進に向けた説明が行われた後、環境局事業部家庭ごみ減量課より『大阪市におけるプラスチックごみの削減と資源循環に関する取組』について講演が行われました。

(裏面につづく)

【研修会の様子】

(表面からつづく)

講演では、2019年5月に策定された大阪市「プラスチックごみ削減目標」において、プラスチックごみの削減目標として、国の目標を5年間前倒しした2025年までに、

1. 容器包装等のワンウェイのプラスチックを2005年度比で25パーセント排出抑制する。
2. 容器包装プラスチックの60パーセントをリサイクルする。
3. また、ペットボトルを100パーセント、リサイクルする。
4. なお、残りのプラスチックごみについては引き続き削減・資源化を進め、熱回収を含め100パーセントプラスチックごみの有効利用を図る。

こととしており、その目標達成に向けた具体的な取組として

- エコバッグを常に携帯する運動の推進(大阪エコバッグ運動)
- 地域・事業者との連携による新たなペットボトル回収・リサイクルシステム(みんなで取り組むペットボトル循環プロジェクト)の推進

などが展開されていることなどが紹介されるとともに、国のプラスチック資源循環戦略について説明がされました。プラスチックごみ削減に向けては、東住吉区においても取組目標が設定され、取組が進められています。



## ごみ減量フェスティバル

4年ぶりの開催

### ガレージセール・イン・OSAKA TOWN



【会場の様子】

11月3日(木)に、ごみ減量フェスティバル ガレージセール・イン・OSAKA TOWN が大阪城公園 太陽の広場で開催されました。天候にも恵まれ、大阪市内各区20店、合計480店の出店予定で開催され、東住吉区からは20店の出店をいただきました。

当日の運営には、各区からごみゼロリーダーのみなさんにご協力いただき、東住吉区からは、上田区代表と今川連合振興町会の守山連合代表に従事いただきました。来場者も約1万人を数え、盛況のうちに開催されました。



上田区代表(左)と守山今川連合代表  
※撮影時だけマスクを外していただきました

《編集・発行》

大阪市環境局 中部環境事業センター

大阪市東住吉区杭全1-6-28

TEL:06-6714-6411 FAX:06-6714-7787

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

